

京都市

街路樹サポーター通信



第3号(2011年 春・夏)

～街路樹サポーターの皆様へ～

梅雨を迎えて、木々の緑も深まりを見せるなど、植物の成長の活発な時期となりました。日々まちの美化に取り組んでいただきありがとうございます。

本市では、平成21年度から試験的に一部の落葉高木（イチョウ、トウカエデ等）で二段階剪定を行い、皆様に清掃等のご協力をいただいておりますが、さらに今年度から本格的に二段階剪定を実施することになりました。詳しくは次号で紹介させていただきたいと思います。

剪定対象路線でも落ち葉が発生することとなりますが、どうぞご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

桜景観創造プロジェクト (サクラリフレッシュ事業)

市民や観光客の目に触れる機会の多い桜並木（街路樹）の保全を図るため、安全確保と沿道景観向上の観点から優先順位を定め、寿命を迎えるサクラ（ソメイヨシノ等）の植替え等を行います。

当プロジェクトは、「京都市緑の基本計画」を着実に実行するために策定された「京のみどり推進プラン」のプロジェクトの一つです。

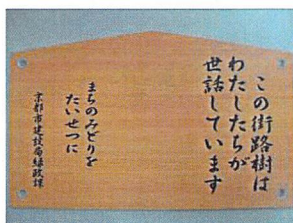
平成23年度は約30本の更新等を目標とし、平成27年度末までに約150本の更新等を目標としています。



街路樹銘板の取替えをお願いします

組織再編で緑地管理課は統合され、現在、街路樹の管理は緑政課が行っています。

遅くなりましたが改定した銘板を同封いたしましたので、街路樹への設置をよろしくお願いいたします。



サポーターの現況

平成23年6月現在、47団体963人の方に落ち葉清掃、除草、水やり等にご協力いただいております。

また、平成22年度では、約4トンの落ち葉を回収していただき、堆肥としてリサイクルを進めています。

今後とも、落ち葉の清掃・回収や街路樹の情報提供などについてご協力をお願いします。

サポーター紹介

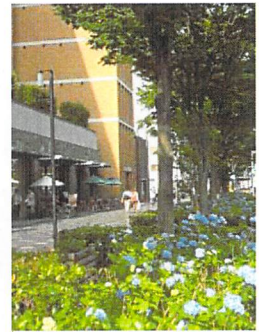
「黄花コスモス会」（境谷本通：西京区西境谷2丁目）、17本の街路樹を対象に、約10名で、落ち葉清掃・回収を中心として取り組み、道路美化・安全確保、落ち葉のリサイクルに貢献していただいています。



お世話していただいている街路樹

街路樹に関する主な事業

- 1 道路の森づくり
低木だけの中央分離帯に可能な範囲で高木を植栽します。(御池通の天神川通～西大路通の間)
- 2 四季の花みち
御池通シンボルロード(堀川通～御池大橋)の歩道に花木を植栽します。
- 3 紅葉街路樹
イチョウ、トウカエデなど、秋の紅葉が美しい街路樹(落葉樹)の剪定時期・方法を工夫して「紅葉街路樹」を目指します。



御池通シンボルロード

サポーターグッズ

●救急袋

活動時の小さなケガ等にお役立てください。1団体に1つお送りします。

●サポータータオル

活動時に誰でも使っていただけて、かつ、活動の役に立つものと考え、タオルを作りました。

近日中に代表の方へお届けする予定です。ぜひご利用ください。

●サポーターエプロン

希望者に「作業エプロン」をご用意いたしました。数に限りがあり色のご希望には添えない場合があります。

(ご希望の方は緑政課街路樹担当へご連絡ください。)



救急袋



サポータータオル



サポーターエプロン

京都市の街路樹

「街路樹」とは、道路法(道路構造令)に規定された道路の付属物であり、道路管理者(京都市)が設置し管理している樹木のことです。

【京都市の主な街路樹】

高木：イチョウ、トウカエデ、スズカケノキ、サクラ、ケヤキ他

低木：ツツジ、シャリンバイ、クチナシ、アベリア、ヒペリカム他



サツキ

シリーズ ～街路樹紹介～ (第3回)

主な街路樹の特徴などを紹介していきます。

今回は、「スズカケノキ」を紹介します。スズカケノキは、京都市の高木約5万本のうち、イチョウ、トウカエデに次いで3番目に多い約4,500本(約10%)が植栽されている樹木です。

【特徴】

- ・ 落葉高木
- ・ 樹皮は大きくはがれ、淡緑白色のまだらになります
- ・ 葉は手のひらのように5～7つに切れ込んでいます
- ・ 名前は、「鈴懸の木」とも書きます。実が山伏の篠懸(スズカケ)という法衣に似ていることに由来しているという説と、実が楽器の「鈴(スズ)」に似ているかことに由来しているという説があります。



スズカケノキの葉

樹木の病虫害

～ ルリチュウレンジ ～

ツツジやサツキが葉脈を残して食害されます。7～8月頃の被害が目立ちます。

(先日、サポーターさんからの情報提供で発見しました。)

